

図表4 中長期情報システム変革 詳細計画 改訂版

	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	
基幹系システム変革	基幹業務システム整備	情報システム組織改革 ・組織運営方法変更 ・部内要員育成 IBM i 7.4、FF RPG、プロジェクト管理、情報システム戦略企画、DX関連スキル (IoT、AI、アジャイル、JavaやPython、Web/API、データアナリティクスなど) 情報システム依頼書システム化	IBM i+RPGモダナイゼーション ・POWER7⇒POWER9 ・ARCAD導入：RPGIII⇒FF RPG移行 ・LPAR導入：開発専用区画追加 ・WebQuery導入：データアナリティクス環境構築 ・X-Analysys導入：運用保守ドキュメント整備	IBM i+RPGモダナイゼーション ・ARCAD導入：RPGIII⇒FF RPG移行 ・X-Analysys導入：運用保守ドキュメント整備	生産管理システム新規構築 ・生産計画、所要量計算、負荷計画、製造管理、製造指示、進捗管理、外注管理、工数管理、製造経費、出荷管理、部品管理 (レシピ) など	営業支援、顧客管理整備 原則パッケージを利用して統合	生産制御システム整備 ・びわ湖工場とつくば工場の生産制御システム統合+生産管理システム/物流システムとリアルタイム連携	物流管理システム構築 (社内物流系+WMS) 販売管理、生産管理、購買管理、営業支援、在庫管理とのリアルタイム連携により物流全体を最適化	物流管理システム強化		
		情報システム部の見える化 ・運用保守ドキュメント一覧を作成し、部内で必要有無を検討	情報システム部の見える化 ・運用保守ドキュメント整備	共通業務システム再構築 ①会計/経費精算パッケージ刷新 管理会計・経営分析・グループ会計追加、既存会計連携システムを修正	債権債務システム整備	販売管理システム整備 DB正規化、ネイティブWeb (UX強化)、API化、予算⇒計画⇒(実績) ⇒予測機能追加、e-文書法対応 (受注電子化) など	販売管理システム強化 ※リアルタイム処理化	DWシステム整備	衛生管理システム整備		
			情報システムBCP対策 ・リスクコントロールシート、BCP対策計画書 Web発注システム新規開発 出荷調整品システム新規開発	②人事給与/勤怠管理パッケージ刷新 人事管理機能 (とくにタレントマネジメント機能) と人事諸届申請ワークフローを追加 テレワーク対応勤怠管理を導入	原価計算システム整備	購買管理システム整備 DB正規化、ネイティブWeb (UX強化)、購買仕様電子化整備、e-文書法対応 (EDI化) など	経営ダッシュボード新規構築 主に会計システムのデータを利活用した経営ダッシュボード	経営ダッシュボード運用・改善	経営ダッシュボード強化		
		社員のITリテラシー向上策 ・IT最新用語解説 ・IoTやAIを活用したビジネスモデル、他社DX事例から学ぶ など	社員のITリテラシー向上策 ・IT経営に必要なIT基礎知識などの社内外研修を企画 ⇒部員のITスキルやIT戦略企画能力育成、IT戦略マネジメント育成を企画	社員のITリテラシー向上教育の実践							
											守りと攻めの 情報システム変革完了 ※今後は継続進化
デジタルトランスフォーメーション (DX)	ペーパーレス化		管理本部ペーパーレスステップ1	管理本部ペーパーレスステップ2・3	管理本部ペーパーレスステップ4	管理本部ペーパーレス定着					
			ドキュメント有効活用ツール	ECM (文書管理) システム	e-文書保存法/電子帳簿保存法対応 (会計、人事給与などの共通業務)	e-文書保存法/電子帳簿保存法対応強化 (生産管理、債権債務、原価計算)	e-文書保存法対応強化 (販売管理、購買管理、営業、顧客管理)	e-文書保存法対応強化 (物流、DW)	e-文書保存法対応強化 (物流、衛生管理)		
				本社ペーパーレスステップ1・2	本社ペーパーレスステップ3・4	本社ペーパーレス定着					
					全社ペーパーレスステップ1・2	全社ペーパーレスステップ3・4	全社ペーパーレス定着				
	DX推進	IoT利用機器1次試作開発 需要予測AI PoC検証	IoT利用機器モデル店展開	DX推進環境構築検討 POWER9導入後に、オンプレ導入かクラウド利用かを含めてDX環境構築方法を検討し、予算化 ・数値/テキストAI ・画像/動画AI DX推進支援 (IoT、RPAなど) ・IoT利用機器 2次開発	DX推進環境構築 ・数値/テキストAI 工場の需要予測と在庫水準予測 (原材料、製品) でAI活用 ・画像/動画AI 工場の品質検査でAIを実証実験	DX推進トライ (IoT、AI、RPA) 【数値・テキストAI適用候補】 需要予測、在庫水準予測 (原材料、製品)、所要量計算、負荷計画、生産計画、故障予測、先取り保守、故障検出、配送計画 【画像/動画AI適用候補】 目視検査、検品	DX推進トライ (クラウドAI) 意思決定支援AI:IBM Watson活用、照会/応答、検索、画像/音声認識、翻訳、自然言語処理、感情分析 【Watson適用候補】 類似特許調査、製品研究開発 (技術文献調査分析)、顧客問い合わせ (チャットボット)、デジタルマーケティング	DX実践 (ハイブリッドクラウド化) ハイブリッドクラウド環境を活用して、基幹システムとリアルタイム連動したDXを実践	DX本格活用 DX本格活用によって、新規ビジネス (製品、サービス、顧客) を創出		
クラウド化 (DX基盤整備)		POWER9はIBM Cloud、共通業務システム系や営業支援・顧客管理はパッケージベンダーのクラウドかIBM Cloudを利用⇒ハイブリッドクラウド方式で検討									
データアナリティクス		ROLAP (Web Query) 導入	ROLAP試験利用 ・POWER9上でリアルタイム分析可能なデータを活用	ROLAP (Web Query) とMOLAP (Dr.Sum) の最適運用方法確立	データマイニング導入検討	データアナリティクス・トライ 経営ダッシュボードでトライ、必要に応じてデータマイニング導入	データアナリティクス運用 経営ダッシュボードを展開	データアナリティクス本格活用 経営ダッシュボードを強化			

資料：ニイタカ(編集部により一部改編)